



今月の主な内容

- 湧別町功労者表彰
- 全国学力・学習状況調査
- 町長への手紙

今月の表紙

親子で楽しく学習
火災予防運動 親子消防士体験

令和4年度 湧別町功勞者表彰式典



町の振興・発展に貢献された方々のご功績をたたえて

令和4年度 湧別町功勞者表彰

令和4年度の「湧別町功勞者表彰式典」が、11月3日（木）文化の日に文化センターTOMで挙行されました。

町功勞者表彰は、「湧別町表彰条例」に基づき、各分野において町政の振興・発展に尽くされた方や、町民の模範となる篤行のあった方、町の名譽を高められた方々などに対し、毎年11月3日の文化の日とその功績をたたえ表彰を行っているものです。

今年度は、個人10人と5団体が表彰され、刈田町長から受章者一人ひとりに表彰状とほう章、記念品が贈られました。



功勞表彰

自治功勞

山本 栄子さん（68歳・緑町）

平成21年11月から12年の永きにわたり、議会議員として、地方自治の振興と住民福祉の向上に貢献されています。

柴田 洋幸さん（63歳・中湧別町）

平成19年4月から15年の永きにわたり、交通安全指導員として、街頭指導をはじめ交通安全の普及、交通事故防止に貢献されています。



教育文化功勞

岩佐 雅弘さん（62歳・緑町）

平成21年12月から12年の永きにわたり、教育委員会委員として、さらに平成22年12月から同委員長職務代理者および同教育長職務代理者の要職を務め、教育の振興発展に貢献されています。



小橋 百合香さん（48歳・中湧別南町）

平成12年5月から20年の永きにわたり、スポーツ推進委員として本町のスポーツ活動の普及と振興に貢献されています。

深澤 一博さん (76歳・志撫子)

平成9年4月から25年の永きにわたり、企画委員会ビッグ・ウエーブ会長として、団体の育成に努め、多種多様な芸術文化公演を招聘し、町民の文化的情操を深め、本町の芸術文化振興に貢献されました。

善行表彰

株式会社 渡辺組

代表取締役 **渡辺 勇喜さん**

湧別町まち・ひと・しごと創生推進事業支援のため多額の金品を寄付され、地方創生の推進に寄与されました。



株式会社 中川組

代表取締役 **森 光弘さん**

新型コロナウイルス感染症対策支援のため多額の金品を寄付され、地域住民の健康保持に寄与されました。

遠軽信用金庫

理事長 **島田 光隆さん**

観光振興として多額の金品を寄付され、公共の福祉の増進に寄与されました。

今野 清さん (84歳・北兵村一区)

平成14年4月から20年の永きにわたり、中湧別安心の街づくり推進委員会委員として地域防犯活動を推進し、町民の民生安定に貢献されました。



吉田 徳司さん (70歳・中湧別東町)

平成14年4月から20年の永きにわたり、中湧別安心の街づくり推進委員会委員として地域防犯活動を推進し、町民の民生安定に貢献されました。

奨励表彰

工藤 健さん (51歳・登栄床)

平成8年4月から26年の永きにわたり、消防団員として消防活動に尽力し、町民の民生安定に貢献されています。

藤井 伴晴さん (54歳・中湧別北町)

平成13年6月から21年の永きにわたり、消防団員として消防活動に尽力し、町民の民生安定に貢献されています。

鈴木 夢唯さん (14歳・東)

第23回北海道ジュニア陸上競技選手権大会の女子3000mで優勝し、第40回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会では北海道代表選手に選考されるなど本町のスポーツ振興に寄与されました。



上湧別中学校野球部

学校長 **綾部 雅一さん**
顧問 **柳川 智紀さん**
本田 学さん
岩佐 咲子さん

主将 **池田 大起さん**ほか部員9人
部員10人という少人数でありながら、

チーム一丸となり第73回オホーツク中学校軟式野球大会で優勝し、第73回北海道中学校軟式野球大会ではベスト16に入り、本町のスポーツ振興に寄与されました。



上湧別中学校吹奏楽部・湧別中学校吹奏楽部合同バンド

学校長 **上中 綾部 雅一さん**
顧問 **湧中 杉山 英司さん**
上中 山下 賢一さん
湧中 樋口 琴音さん
真田 侑季さん
岩崎 洋渡さん
堀下 奈津子さん
部長 **上中 荒井 大毅さん**
湧中 後藤 実千さんほか部員25人

全道的にも少数である中学校の合同バンドとして活動し、合同練習の時間が限られるなど、さまざまなハンディキャップを克服し、第64回北見地区吹奏楽コンクールでは金賞を受賞し、第67回北海道吹奏楽コンクールでは銀賞を受賞するなど、本町の芸術文化振興に寄与されました。



令和4年度

「全国学力・学習状況調査」の結果

この調査は、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析するとともに、教育施策の成果と課題を検証しその改善を図るため、小・義務教育学校6年生と中学3年生・義務教育学校9年生を対象として、文部科学省が平成19年度より実施しているものです。

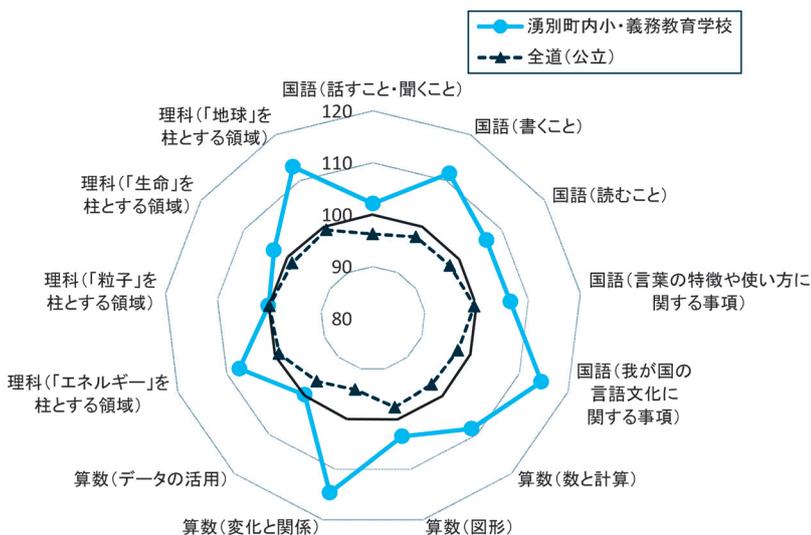
令和4年度は国語、算数・数学、理科の3教科で実施されました。調査結果から見た湧別町子どもたちの様子について、その概要をお知らせします。

湧別町内 小・義務教育学校 の状況および学力向上策（学校数：5校）

小・義務教育学校では、すべての教科で全国および全道平均を上回りました。

【教科全体の状況】

教科の領域別に **全国を100** とした場合の全道および湧別町の状況をレーダーチャート（グラフ）で示したものを（湧別町の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

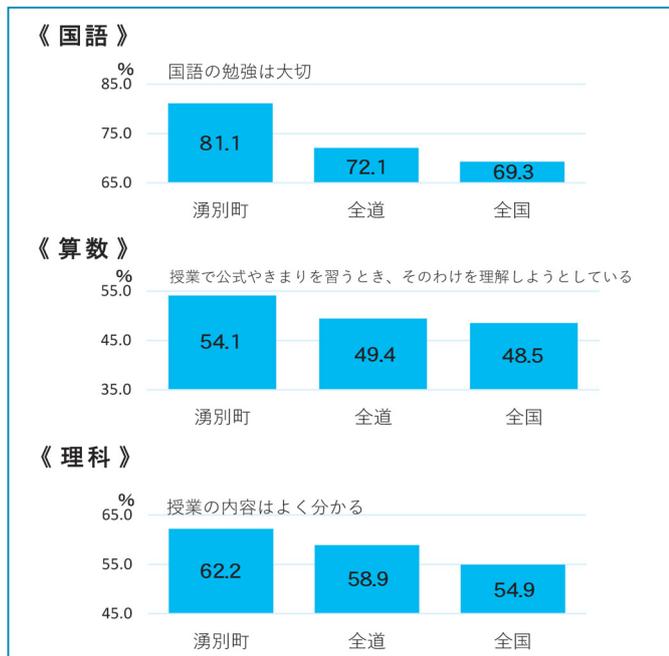


【湧別町の学力向上策】

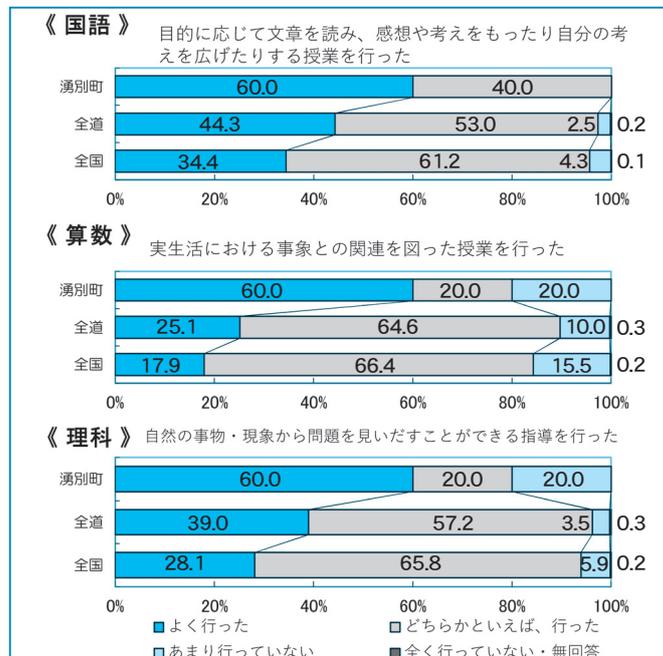
- 湧別町型学校力向上事業に基づく授業公開や研修事業の実施
- 全国学力・学習状況調査等を活用した授業改善や学習習慣の確立
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学び合いの授業やICT(情報通信技術)端末の効果的な活用
- 学力向上支援員や特別支援教育支援員等の配置の充実
- 長期休業を活用した高校生ボランティア学習サポートの実施
- 学校図書館支援事業による読書活動の推進



【児童 質問紙調査】



【学校 質問紙調査】



【分析】

- 国語の授業において、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり自分の考えを広げたりする授業を行ったことにより、国語の勉強が大切と回答した児童の割合が全国および全道を上回るとともに、すべての領域で平均正答率が全国を上回ったと考えられる。
- 算数の授業において、実生活における事象との関連を図った授業を行うことにより、公式やきまりを習うとき、そのわけを理解しようとしていると回答した児童の割合が全国および

全道を上回るとともに、すべての領域で平均正答率が全国を上回ったと考えられる。

- 理科の授業において、自然の事物・現象から問題を見いだすことができる指導を行ったことにより、理科の授業の内容がよく分かるという回答した児童の割合が全国および全道を上回るとともに、すべての領域で平均正答率が全国を上回ったと考えられる。



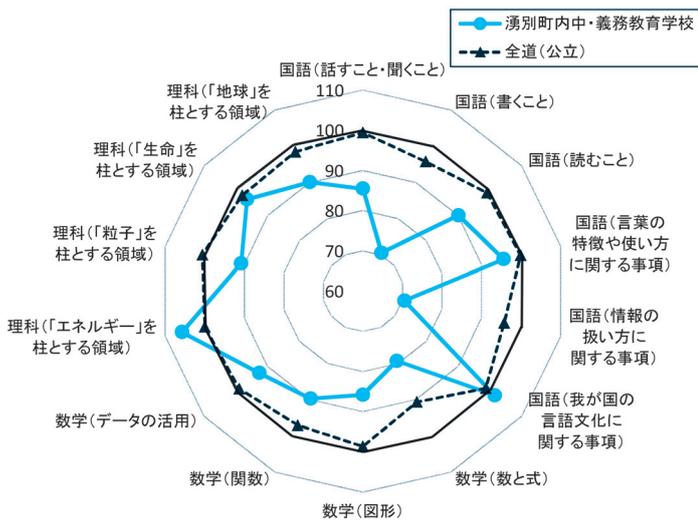


湧別町内 中・義務教育学校 の状況および学力向上策（学校数：3校）

中・義務教育学校では、国語と理科の一部で全国および全道平均を上回りました。

【教科全体の状況】

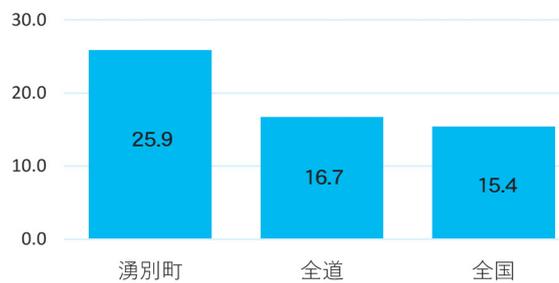
教科の領域別に **全国を100** とした場合の全道および湧別町の状況をレーダーチャート（グラフ）で示したもの
 （湧別町の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）



【生徒 質問紙調査】

《全般》

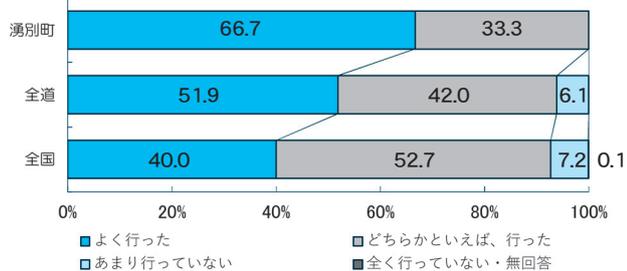
家で自分で計画を立てて勉強している



【学校 質問紙調査】

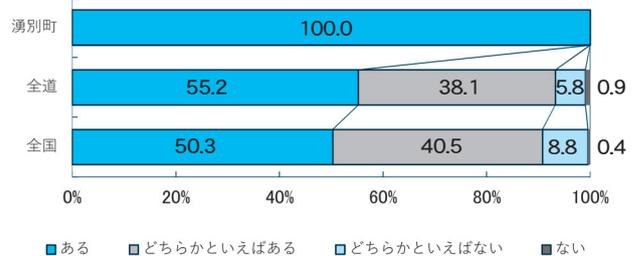
《全般》

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っている



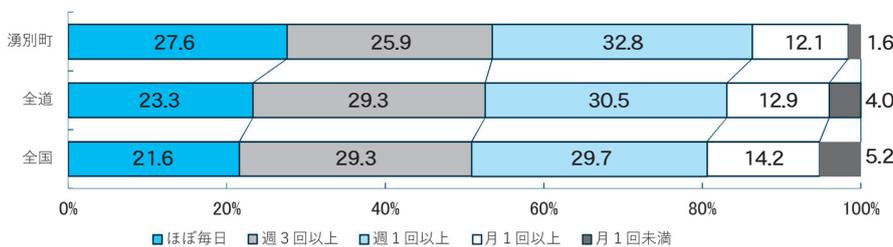
《全般》

教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がある



《全般》

授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



【分析】

●町全体で、全国学力・学習状況調査を活用した授業研究や事例研究等、実践的な研修を行ったことにより、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が図られ、生徒が主体的に学習に取り組み、自分で計画を立てて学習すると回答した生徒の割合が全国および全道を上回るとともに、国語では「我が国の言語文化に関する事項」、理科では「エネルギー」を柱とする領域で平均正答率が全国を上回ったと考えられる。

●町全体で、教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修を開催し、授業にICT機器を積極的に活用したことにより、授業で、PC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日活用したと回答した生徒の割合が全国および全道を上回ったと考えられる。

町長への手紙



広報ゆうべつ8月号で募集しました「町長への手紙(第10弾)」にお寄せいただいた7通のお手紙と6通のメールの中から一部をご紹介します(紙面の都合上、お手紙の内容と回答は概要を掲載しています。)
お寄せいただいたご意見・ご提案を参考にさせていただきます、住みよいまちづくりを進めてまいります。

貴重なご意見・ご提案をいただきありがとうございました



町民の皆さまが気軽に町政に参加できる制度として、平成26年から町長の手紙を受け付けています。



大型免許取得費の助成

仕事で大型免許の取得が必要なので、助成制度を作ってほしい。助成制度があれば若年者の職の手助けにもなるのでは。

答 業務上必要な資格は、事業者が経費負担をしていることが多く、また、「教育訓練給付制度」や「人材開発支援助成金」などの支援制度もあり町の助成はありません。しかし、町内事業所で大型・中型車両や大型特殊車両の運転手が不足していることや事業所の経費負担軽減、季節労働で事業所等の経費負担の対象とならない方もいますので、来年度以降の支援制度を検討していきます。



風力発電の設置

海岸を利用し風力発電を設置しては。

答 風力を使い発電するためには連続して風が吹き続けなければならず、さらにブレードと呼ばれる風車を回すだけの

風速がなければいけません。一般的に年間平均風速で6m

以上の地域が風力発電に向いているといわれておりますが、湧別町の過去5年間の年間平均風速は弱く、また、ブレードが破損すると復旧には1カ月ほどの日数がかかるなど、年間通して安定した発電が得られないといった懸念がありますので、現時点では風力発電施設を設置する考えはありません。



街並みの景観

市街地の太陽光発電の設置をやめてほしい。周辺の草刈りもされず、野性動物のすみかになり環境衛生に欠けている。

答 町議会で「太陽光発電施設の設置に伴い環境破壊や景観への影響に対する備えが必要でないか」とのご意見をいただいております。そのほかにも何件か住民の感情として、太陽光発電施設の増加に伴う問題を不安視する声があることは承知しています。再生可能エネルギーの普及、拡大が進むなか、現在、町として住民や環境に配慮した適正な太陽光発電事業の実施および太陽光発電施設の設置の考え方について検討を行っているところです。



道の駅の利用について

道の駅に、外で飲食できるスペースを増やしてほしい。キッチンカーとドッグランもあると良いのでは。

答 町内には2カ所の道の駅があり、運動公園や遊園地が隣接しています。道の駅「かみゆうべつ温泉ユウリッパの湯」は屋外での軽食等の販売を行っていないので、キッチンカーも含め、屋外での軽食等の販売について指定管理者と協議していきます。

また、ドッグランについては過去にユウリッパ公園に設置したことがありますが、利用者のマナーが悪く廃止した経過があるので、現在のところ設置する考えはありません。



行政書類をコンビニ

行政書類をコンビニで取得できるようにしてほしい。

答 現在国ではICT(情報通信技術)を活用した行政サービスの向上に取り組んでおり、その一つが市区町村が発行する証明書が全国のコンビニエンスストア等から取得できるサービス(コンビニ交付)で、北海道内において※27市町(15%)で導入されています。

※回答時点の状況で、現在は変わっている可能性があります。

本町においても、数年前よりコンビニ交付の導入に向けた検討を進めています。システム導入に多額の費用がかかることから、導入に至っていません。

今後、他の市区町村の動向や社会情勢を見極めながら、コンビニ交付の導入を検討していきたいと考えています。

専用封書(料金受取人払郵便)での受け付けは終了しましたが、電子メール等では随時受け付けていますので、今後も町民皆さまからのご意見・ご提案をお待ちしております。

Mail☒: main@town.yubetsu.lg.jp

◆お問い合わせ先
総務課広報・自治会グループ TEL2-2112

～11月9日は119番の日～

119番通報から出動までの動き

皆さまの生命・財産を守るため、消防隊員は1秒でも早く現場に着くために努力しています。

少しでも早く現場に到着できるように、通報する際の注意点や心構えなどを学んでいきましょう。

◆出動までの流れ

① 119番通報



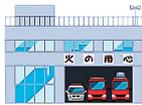
湧別町、佐呂間町、遠軽町からの119番通報はすべて遠軽地区広域組合「消防指令センター」(遠軽町)につながります。

② 指令室で情報整理



通報の情報から、災害の内容・場所を整理します。

③ 出動指令



指令室から出張所等に出動の指令を出します。

④ 出動



指令情報・地図情報をもとに出動します。

消防庁では消火や救急・救助などの町民生活に密着している消防行政に理解を深めるとともに、防火・防災の意識の高揚を図ることを目的として、昭和62年より11月9日を「119番の日」と制定しています。

◆119番通報のしかた

- ① 「火事」、「救急」をはっきり伝える
- ② 町名(湧別町)を含め、「住所(番地まで)」、「場所」を正しく、詳しく伝える
- ③ 「何が燃えている」、「誰がどうした」など内容を伝える
- ④ 「通報者の名前」・「電話番号」を伝える

【通報時のお願い】

- 落ち着いて質問に答えることが、迅速な出動につながります。 通報の途中に出動準備をしていますので、質問には、ゆっくり、落ち着いて、はっきりと答えてください。
- 必ず「119番」に通報してください。 出張所に直接通報すると、内容を確認してから準備をすることとなり、出動まで時間がかかってしまいます。
- 消防車両は緊急走行時に赤色灯の点灯とサイレンの吹鳴が義務付けられています。**サイレンを鳴らさない**と緊急走行できないので、ご理解願います。
※災害情報は災害案内ダイヤルで確認してください。

【お問い合わせ先】

災害案内ダイヤル Tel0158-49-2131
遠軽地区広域組合消防署 Tel0158-42-2050

～湧別の魅力をたくさんの方に届けたい～

ふるさと納税額の向上に向けた取り組み

令和3年度のふるさと納税の受入実績は12,787件147,859千円で、前年度より1.6倍の寄付額となり、平成29年度の導入開始以降、最大となっています。

◆支援者増加に向けセミナーを開催

今後、より多く支援いただけるように、返礼品の取扱事業者を対象としたセミナーを開催し、町の魅力の発信方法や魅力的な返礼品の開発などを協議しました。

町の取り組みの説明や代行業者からの寄付増に向けたアドバイスに加え、グループワークでは事業所が独自で行っている取り組みの紹介や新たなアイデアなどが提案されました。

【事業所が独自で行っている良い取り組み】

- 返礼品の食べ方や調理法の紹介を同封。
- オリジナルパンフレットやチラシを同封。
- デザイナーによるパッケージデザインの改良。

【寄付増に向けたアイデア】

- 湧別の製品のブランディング。
- 複数の事業者商品を組み合わせた返礼品を増やす。
- 専用のSNSを運用、寄付金の使用用途の宣伝。

ふるさと納税とは、好きな自治体に対して寄付ができる制度で、返礼品を受け取りながら寄附金控除として税額控除に算定できる制度です。

◆支援者増加に向けた「町の取り組み」

●寄付受付サイトの拡充

令和4年4月から「ふるさとプレミアム」、「ふるらボ」を追加。さらに、10月からは「dショッピングふるさと納税百選」への掲載を始め、現在10サイトで受け付けを行っています。これにより、より多くの方に湧別を知る機会が増えていきます。

●オリジナルロゴマークを作成しPR

湧別町の知名度向上とリピーター獲得のためオリジナルのロゴマークを作成しました。返礼品発送時の箱に貼り付けたり、申し込みサイトの返礼品画像に付けたりと、さまざまな用途で使用します。



セミナーでのご意見を参考に、今後も湧別町へご寄付いただけるよう取り組みを進めていきます。また、湧別の魅力をたくさんの方に伝えるために、ふるさと納税の返礼品を提供していただける事業者を募集しています。湧別町の魅力発信・納税額増加にご協力をお願いします。

【お問い合わせ先】

企画財政課未来づくりグループ Tel2-5862

9/28

町長と語り合う 第1回目のふれあいトークを開催

刈田町長とのふれあいトークが開催されました。
これは、町民の皆さんが日頃町政に対して感じていることを意見交換し町の政策に反映させていくために、刈田町長が町長就任時に掲げた「幅広い世代から町政に対する意見を伺う」目的で新たに制度化したものです。
今回の会合では、町との関わり方や、町と一緒に進めたい斬新でユニークなアイデアが数多く出され、刈田町長は「若い方のまちおこしに対する考え方や、その具体策などが聞いて参考になった。」と話していました。

まちの活性化を目指し活動する団体「開tug」の会合に合わせて開催



町長自ら団体やサークルの会合に向き、意見交換をするふれあいトーク

9/29

将来の夢、見つかったかな？ 町内中学3年生・義務教育学校9年生が職場体験

町内の中学3年生・義務教育学校9年生による職場体験実習が行われました。
この取り組みは、STCプログラムの一環として将来の進路を考えるうえで勤労観・職業観を体験の中から学ぶことを目的に毎年実施されているものです。
湧別図書館で実習を受けた生徒は、読書週間の特別展示で飾るポップなどの準備を体験したほか、湧別小学校で実習を受けた生徒は、子どもたちに寄り添い授業のお手伝いを体験するなど、普段では体験できない貴重な経験をしていました。

沢口産業㈱や北湧印刷などの町内19事業所にご協力いただき実施



この体験を将来の夢を叶える良いきっかけにしてください

9/30

やる気を引き出す指導法 湧別町民大学が開講

今年1回目の講座には、オリンピックスピードスケート金メダリストの高木菜那さん・高木美帆さん姉妹などを指導した帯広大谷高等学校講師の東出俊一さんを講師に迎え、「ゴールドメダリスト姉妹の指導法～やる気を引き出すには～」と題した講演を行いました。
東出さんは自身が日本代表として日の丸を付けた感動を一人でも多くの方に感じさせたいとの思いで指導にあたり、「目標の明確化と自己肯定感、誇りを持たせることの大切さと、いかに自信を与えられるか」がコーチの力であることを伝えていました。

文化センターTOM



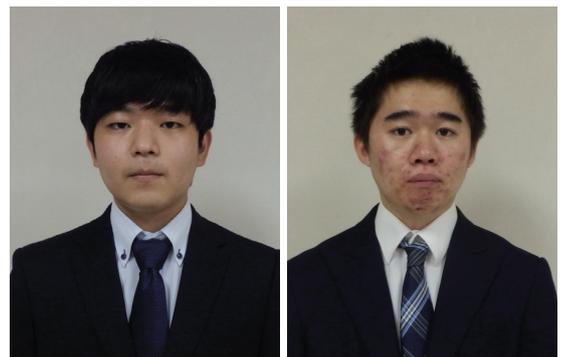
今年で46年目を迎えた湧別町民大学が開校し、約80人が受講

10/1

地域の防火意識の向上を目指す 湧別町消防団に2人が入団

湧別町消防団は180人が地域の防火・防災の担い手として、また、災害発生時には消火・警戒などの消防活動を行い、地域の防災リーダーとして活躍しています。
全国的に消防団員数の減少、高齢化等の問題に直面しており、地域の防災力の低下が危惧されています。入団希望の方、興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

湧別町消防団



湧別分団に酒寄風樹さん(左)、上湧別分団に北村友輝さん(右)が入団

【お問い合わせ先】 遠軽地区広域組合消防署
湧別出張所消防団係 TEL5-2338
上湧別出張所消防団係 TEL2-4111



文化センターさざ波



たくさんの親子が歌と生演奏の音楽を楽しみました

10/1 生演奏のステージを楽しむ ペネロペのなかよし音楽会

芸術文化公演を招へいする町民団体「良いもの見よう聞こう会」（川村寿光 会長）が主催したもので、およそ170人の観客は絵本の人気キャラクターのペネロペと、お姉さんの歌やダンス、オーケストラによる生演奏からなるオペレッタなどを楽しみました。

子どもたちは、音楽に合わせて手拍子や手を振ったり踊ったりするなど、楽しい時間を過ごしたようで「歌が上手だった。ペネロペに会えてうれしかったし、一緒に踊れて楽しかった。」と話していました。

文化センターTOM前特設会場



こども縁日などもあり親子連れも多く訪れました

10/1 ビアガーデンで楽しい時間を 秋だよ！タノシマナイトを開催

「新型コロナウイルス感染症が収束しない中、町民が元気になるしてほしい」と、湧別町商工会地域振興委員会が企画したもので、町民限定で開催されました。

町内飲食店による料理や生ビールなどを目当てに次々と町民が来場し、ステージイベントやビンゴのほか、フィナーレには花火が打ち上げられ盛り上がりました。

訪れた方は、「町民限定で屋外開催なので、安心して楽しい時間を過ごせた。」「コロナ禍で遠くはまだ行けないので、子どもが楽しめる催しを開いてくれてうれしい。」と話し、楽しい時間を過ごせたようでした。

中湧別小学校



中湧別小学校が火災となった想定で訓練を実施

10/8 地域の安心安全のために… 秋季消防演習を挙行

町内消防団による秋季消防演習が開催され、消防団員77人と消防車両6台が集結しました。

この演習は、「消防精神の高揚と技術の練磨」「指揮・統率・命令の徹底」「団員相互の緊密な連携と親和」のために行われているものです。

刈田町長や村田議長などが見守るなか、実放水による火災防御訓練や、多数傷病者が発生し三角巾を用いて応急処置を施す救護班訓練を実施しました。

本番さながらの緊張感のなか、消防分団間の連携を確認しながら訓練した成果を遺憾なく発揮していました。

湧別総合体育館



(独)日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじ助成金(地方公共団体スポーツ活動助成)を受け開催しました

10/9 目指せ未来のオリンピック選手 少年柔道大会上野カップ2022

今年で5回目となったこの大会は、オリンピック女子柔道で二連覇を果たした金メダリストの上野雅恵さん、銅メダリストの上野順恵さん姉妹が湧別町にゆかりがあることが縁で始まった大会で、札幌市など道内24市町から300人を超える小中学生が出場しました。

小学生は学年別に個人戦、中学生は団体戦が行われ、日頃の厳しい稽古の成果を発揮して白熱した戦いが繰り広げられました。

笑顔でメダルを受け取る子や、勝利を逃し涙を浮かべる子もいるなど、大会は大いに盛り上がりました。



10/
15・16

芸術の秋を満喫 湧別町総合文化祭（展示の部）

10月15日（土）から2日間、湧別町総合文化祭（湧別町文化連盟 古川宏道 会長）の展示作品展が開催されました。

これは、文化協会加盟団体の皆さんが手によりをかけて製作した作品を展示したもので、生け花、木工作品、写真や書道など多くの力作が展示されました。

訪れた方々は、ゆったりとした時間のなか、じっくり作品を観察したり、製作者の話を聞くなど、芸術の秋を満喫していました。

文化センターTOM



多くの作品が展示されました

10/
15

来年もきれいに咲きますように… チューリップ球根植え付け会が行われました

かみゆうべつチューリップ公園で球根の植え付け会が行われ、町民のほか、郵便局や遠軽自衛隊の皆さんなど約120人が参加しました。

球根の植え付けは、球根の向きをそろえ、等間隔で植える簡単な作業ですが、広大な面積を植える根気のある作業で、参加者は「かがんで作業すると腰が痛くなるし、広くて大変！」と話し、苦しい表情を浮かべながらも丁寧に植えていました。

皆さんが植えてくれた球根から、どんなきれいな花が咲くのか今から楽しみです！

きれいな花が咲くように一球一球丁寧に植えられました



今年もたくさんの方のご協力ありがとうございました

10/
16

3年間の思いをのせたサウンド 湧別高校吹奏楽局定期演奏会

演奏会では、コンクールで演奏した曲のほか、中湧別小学校金管バンドと上湧別中学校・湧別中学校吹奏楽部との合同による大迫力の演奏を披露。第2部では歌やダンスなど、楽しませる工夫が満載のステージが繰り広げられ、大いに盛り上がりました。

コロナ禍により満足に活動ができない時期があったなか、湧高吹奏楽局として最後の演奏となる3年生の思いがこもったサウンドに、アンコール曲の演奏が終わったあとも、惜しめない拍手が鳴り続けていました。

文化センターさざ波で第14回目の定期演奏会が開催されました



たくさんの観客が押し寄せ、大いに盛り上がりました

10/
17

街頭啓発 秋の街頭啓発

湧別建設業協会主催による街頭啓発（セーフティーコール）が榊中川組前で実施されました。

建設工事の追込期および輸送繁忙期における交通安全のために行われたもので、湧別建設業協会副会長より「日没が早くなり人影が見えにくくなってきていることから、歩行者に気を付け事故を無くしていきましょう。」とあいさつがあり、交通安全のタスキと旗を身につけ、運転手一人ひとりに「安全運転をお願いします。」と声をかけながら啓発物品を配布していました。

湧別建設業協会の会員約30人が参加



安全な速度で、思いやりのある運転をしましょう



イベント・行事スケジュール

11月10日から12月20日までに行われる
イベントや行事をお知らせします。

11月10日(木)	湧別町民大学 (講師：関根摩耶さん) (19:00 文化センター TOM)
11日(金)	健康運動教室 (14:00 文化センターさざ波)
12日(土)	湧別認定こども園お遊戯会 (9:30 文化センターさざ波) チャレンジスポーツスクール「カローリングほか」 (10:00 湧別総合体育館)
16日(水)	チューリップ生きがい大学講演会「認知症高齢者の理解と関わり方の基本」 (10:00 文化センターさざ波) 健康運動教室 (14:00 文化センターさざ波)
19日(土)	湧ゆう湧くわく体験塾「Xmasリースづくり」 (9:00 文化センターさざ波) 認定こども園みのりお遊戯会 (9:00 文化センター TOM)
24日(木)	移動町長室 (9:00-12:00 役場湧別庁舎) 湧別町民大学 (講師：増田隆一さん) (19:00 文化センター TOM)
26日(土)	ふるさと講座「オホーツク海」 (13:30 文化センターさざ波)
27日(日)	子ども会交流ミニバレーボール大会 (12:30 湧別総合体育館、中湧別総合体育館)
12月 4日(日)	第47回町民300歳バレーボール大会 (9:00 湧別総合体育館、中湧別総合体育館)
6日(火)	チューリップ生きがい大学「クラブ活動発表会」 (10:00 文化センターさざ波)
10日(土)	チャレンジスポーツスクール「フロアボール」 (10:00 湧別総合体育館) パラパラブックワークショップ (13:00 文化センターさざ波)
11日(日)	家庭教育研修会 (9:00 文化センター TOM)
14日(水)	健康運動教室 (14:00 文化センターさざ波)
17日(土)	湧ゆう湧くわく体験塾「ネイチャークラフト」 (9:00 文化センターさざ波)



※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止または延期となる場合があります

～刈田町長と湧別の未来を語りませんか?～湧別庁舎の移動町長室でお待ちしています

早いもので、今月15日で町長就任2年目を迎えることとなりました。この間、コロナ禍からの回復を望みながら町民の皆さんが安全で安心して生活できる環境の整備や、まちの魅力向上につながる事業への取り組みなどに努めて参りました。

今後も町民の皆さんとの対話を大切にしながら、町政を担わせていただきたいと思います。

- ◆開催日程 11月24日(木) 午前9時から正午まで
- ◆開催場所 湧別庁舎 移動町長室
- ◆お問い合わせ先 総務課広報・自治会グループ (上湧別庁舎) TEL2-2112

*公務により町長が不在のときは、副町長が対応します。

*上記の日程以外は、上湧別庁舎で執務を行っています。お気軽に町長室へお越しください。



各種大会で活躍

※町内在住で、全道規模以上の大会等に出場した方・団体を掲載しています。(敬称略)

◆2022年度北海道卓球選手権大会 (一般・ジュニアの部) (10/14: 旭川市)

ジュニア女子シングルス
松橋優奈 (湧別中2年) **出場**



◆JOCジュニアオリンピックカップ第16回U18/第53回U16陸上競技大会 (10/21: 愛媛県松山市)

男子1000m 齋藤 瑠来 (湧別中2年) **出場**

◆第40回北海道中学校駅伝競走大会 (10/16: 新得町)

湧別中学校陸上部 男子チーム **第6位**
女子チーム **第3位**

